



福岡県介護保険広域連合

高齢者一人当たりの介護給付費の実績に応じて、構成市町村をAからCまでの3つのグループに分け、グループ別に保険料を設定し、3年ごとに見直しを行っています。平成30年度から令和2年度までの3年間は第7期に当たり、来年度からの3年間は第8期になります。桂川町は過去において保険料が最も高いAグループの時もありましたが、近年では介護予防や健康増進の取り組みにより、Bグループとなっています。今後とも、介護予防事業や健康診査等の取り組みを強化する必要があると考えています。

国民健康保険運営方針

県内市町村の保険水準の均一化を目指すため、令和5年度までを制度定着期間、令和6年度以降は均一化以降期間として取り組みを進める方針を策定しました。桂川町もこの運営方針に沿って、国保算定方式として示す4方式を、県が標準方式として示す3方式に見直す必要があります。今後、課題等の整理に努め、

準備を進めていきます。

農業振興

農地や農道、水路等の農業環境保全のため、多面的機能支払交付金や中山間地域等直接支払交付金を活用した支援を継続していきます。また、福岡県やJAと連携して、農業次世代人材投資事業を活用し、新規に就農する青年農業者の支援に努め、地域農業の活性化につなげたいと考えています。



各種計画策定

「第2期地域福祉計画」、「第6期障がい福祉・第2期障がい児福祉計画」、「第8期高齢者福祉計画」、「第

2期男女共同参画基本計画」につきましては、令和2年度末に策定いたしました。

七浦ため池

桂川中学校横にある「七浦ため池」は、老朽化のため斜樋管が閉塞した状況になり、ため池機能の回復と防災上の改修工事が必要となっています。このため、県農林事務所と協議を行い、県営事業としてため池改修工事に取り組んでいくこととなりました。令和3年度は調査・測量を実施し、その後事業計画を立て、取り組みを進めていきます。なお、工事の実施にあたっては一定の町の負担金が必要になります。



▲改修工事をおこなう七浦ため池